

【 小値賀町 】  
校 務 D X 計 画

## 1. クラウドサービスの活用

本町では、「教員と保護者間の連絡」に安心安全メール、「教員と児童生徒間の連絡」に Google Classroom を使用するなど、クラウドサービスを活用するにより、業務の効率化、ペーパーレス化に取り組んでいる。現状においては、教職員の ICT 活用能力に個人差があり、うまく活用できていないケースも散見されることから、全ての教職員が効果的に活用できるよう、学校や ICT 支援員と連携を図りながら、校務 DX を推進していく。

## 2. FAX でのやり取り・押印見直し

本町では、学校、教育委員会間のやり取りは校務支援システムを使用しているため FAX は使用していない。今後について、学校とやり取りのある事業者に対してはメール等の運用へ変更していただくよう依頼を行い、FAX 運用の廃止に向けて取り組んでいく。

押印については、学校の業務においては押印を行っている業務があるため、押印の見直しを行い、可能な限り押印を省略していくことで業務の効率化とペーパーレス化を推進していく。

## 3. 校務支援システムについて

本町では、校務支援システムを導入したことにより、児童生徒名簿を一括で取り込むことができるようになったこと等、不要な手入力作業がなくなり業務の効率化が図れている。今後においても、校務支援システムの活用を進め、業務の効率化を図っていく。

## 4. 次世代の校務デジタル化

本町では、校務支援システムを閉域網のネットワークで運用する「校務系」、インターネットやメールを行う「校務外系」、児童生徒が一人一台端末で使用する「学習系」の3系統のネットワークがある。それぞれの端末ごとにログインが必要であり、データのやり取りができず業務の効率化が図れない状況である。そのため、今後においてはネットワークの統合や校務支援システムのフルクラウドサービスへの移行など、校務デジタル化を実現するための検討を行っていく。